

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNSマーケティングA		
必修選択	選択	(学則表記)	SNSマーケティングA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	デジタル時代の基礎知識『SNSマーケティング』		出版社	翔泳社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	飲食業界の現状や顧客のニーズを把握し、WEBやSNSを活用したマーケティング・集客についてを理解し実践する。		
到達目標	マーケティングの基本となる3C分析を理解し、顧客の共感や集客に繋がるメッセージをTwitter、Instagram、LINEなどを通じて発信できる。各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握するだけでなく学内店舗実習などでも実践できる。		
評価基準	テスト55％ / 課題提出30％ / 授業態度15％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評定が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	学内店舗実習A・B / ディスプレイA・B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	坂本 百合菜	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション (SNSの時代背景)	SNSが活発に利用されている時代背景について考える
2	WEB/SNSの種類、それぞれの役割	SNSアカウント運用、広告、HP、LPの役割、ターゲットの設定などの基礎知識を身に付ける
3	お店でのSNSの活用・口コミ	実際に現場で使用するにあたり必要な知識を身に付ける
4	SNSの文章の作り方（ライティング）	学内店舗実習のSNS集客(Instagram、Twitter)検証・改善・実践
5	店舗実習での活用(Twitter)	Twitterの特徴を知り、学校アカウントに投稿をおこなう
6	公式LINEアカウントマーケティング & Facebook / Tiktok/YOUTUBE他	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表

7	画像加工について(Instagram用)	アプリを用いて、画像加工をおこなう
8	店舗でのSNSを始める前に決めるべき4大要素を考えよう	運用に関する基礎知識（KGI,KPI,ペルソナについて）
9	炎上について知る	実例をもとにグループワークを行い、炎上対策について考える
10	店舗実習での活用(Instagram)	スケジュールの考え方と内容の考え方を講義し、実践
11	SNSマーケティングの基礎知識	3C5フォースなど基礎用語を知る
12	ショート動画について/実践	アプリを用いて、ショート動画の作成をする
13	企画発表	発表
14	テスト	テストを実施する
15	総復習/アカウント分析	前期の復習と店舗実習アカウントの分析を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	SNSマーケティングB		
必修選択	選択	(学則表記)	SNSマーケティングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	デジタル時代の基礎知識『SNSマーケティング』		出版社	翔泳社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	飲食業界の現状や顧客のニーズを把握し、WEBやSNSを活用したマーケティング・集客について理解し実践する。		
到達目標	マーケティングの基本となる3C分析を理解し、顧客の共感や集客に繋がるメッセージをTwitter、Instagram、LINEなどを通じて発信できる。各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握するだけでなく学内店舗実習などでも実践できる。		
評価基準	テスト55％ / 課題提出30％ / 授業態度15％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評定が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	学内店舗実習AB / ディスプレイAB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	坂本 百合菜	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	公式LINEについて	店舗用アカウントを稼働していくために必要な知識を知る
2	SNS広告とは①	SNS広告の種類、形式について知る
3	SNS広告とは②	SNS広報の実例を知る
4	ランディングページ (LP) を作ってみよう	アプリを用いて、ランディングページの模擬作成をする
5	ランディングページ (LP) の発表	発表とレビュー
6	SNS活用術 (公式ページとインフルエンサーの活用の違い)	実際のSNS活用術を知る
7	SNSアカウントの分析方法	SNSアカウントの分析方法を学ぶ
8	LINE分析/Instagram分析	学校アカウントの投稿を分析する

9	様々なInstagram分析	飲食業界にまつわるアカウント調べ・発表準備を行う
10	Instagram分析・発表	発表とレビュー
11	最高のコンテンツの5大要素/動画コンテンツの魅力（ライブ配信）	5大要素のついて知る/SNSライブ配信について知る
12	HPについて知る	HPの基本情報を知る、アプリを用いてHPを作成する
13	HPを作ろう	アプリを用いて、HPを作成し発表する
14	テスト	テストを実施する
15	総復習	総括、今後の社会生活とSNSの関連について

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	店舗・空間プロデュースA		
必修選択	選択	(学則表記)	店舗・空間プロデュースA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	お店の解剖図鑑 お客が殺到する飲食店の始め方と運営			出版社	株式会社エクスナレッジ 成美堂出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	①現場に出た際や、独立して自分の店舗を持つ際に、空間作りで必要となる知識や事前検討の項目を理解する。 ②カフェやパティスリーなどの店舗のコンセプトや空間づくりのノウハウを学び、集客につながる空間づくりを知る。 ③店舗設計の発注に伴い、自分の想いを伝え、打合せでもやりとりがスムーズにいくように、必要最低限の知識を習得し、理想の店舗を完成させられるようにする。 ④独立志向のある生徒に対して、具体的なビジョンを描かせることができ、モチベーションを向上させる。				
到達目標	①現場に出た際や、将来独立する際に、コンセプト設定や集客につながる空間づくりができる。 ②授業で学んだ空間づくりに必要な知識を、学内店舗実習に活かすことができる。 ③理想の店舗を作るために、設計・施工会社とやりとりができるよう、空間作りに必要な知識が最低限ある状態になる。				
評価基準	テスト50%/小テスト20%/提出物15%/授業態度15%				
認定条件	出席が総時間数の2/3以上ある者 学年成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	学内店舗実習A・B				
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上篠 光朗			実務経験	○
実務内容	15年以上レストラン勤務(イタリア渡経験有り)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・店舗デザインの流れ	授業の流れ・到達目標を理解する。店舗デザインの流れを理解する
2	ターゲット・ペルソナ・コンセプトの設定	ターゲット・ペルソナについて理解し、自分の店舗のコンセプトを作成。
3	業態の種類・空間の探し方	業態の種類・それぞれの特徴を理解する。理想の空間の探し方を知る。
4	店舗デザイン ログマーク	ログマーク作りの基礎を学び、自分の店舗のログマークを作成。

5	店舗出店計画①	地域の商圏・客層を理解し、コンセプトに合った立地を探す。
6	店舗出店計画②	ECサイトの仕組み・考え方
7	店舗空間の寸法や数値	空間を考える基礎となる寸法を学び、身の回りの寸法を測定し理解する。
8	店舗デザイン 客席	客席の種類、それぞれの特徴を理解する。
9	店舗デザイン 厨房	厨房の種類、レイアウトの基本、機器調達を理解する。
10	空間デザイン トイレ・サイン計画	レイアウトや設備、アメニティを理解する。 サインの種類、効果的な配置計画を理解する。
11	店舗デザイン 外観・看板	店舗の顔の整え方と、店内への導き方を理解する。 看板の種類、効果的な配置計画を理解する。
12	店舗レイアウトの基本	客席と厨房のバランス、動線を考えたゾーニングを作成。
13	平面プランの作り方	ゾーニングから寸法を意識し、平面プランを作る。
14	前期テスト	前期テストの実施
15	店舗デザインの費用・法令 ・届出	店舗デザインにかかる費用や、知っておくべき法令や届出を理解する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	店舗・空間プロデュースB		
必修選択	選択	(学則表記)	店舗・空間プロデュースB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	お店の解剖図鑑 お客が殺到する飲食店の始め方と運営			出版社	株式会社エクスナレッジ 成美堂出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	①現場に出た際や、独立して自分の店舗を持つ際に、空間作りで必要となる知識や事前検討の項目を理解する。 ②カフェやパティスリーなどの店舗のコンセプトや空間づくりのノウハウを学び、集客につながる空間づくりを知る。 ③店舗設計の発注に伴い、自分の想いを伝え、打合せでもやりとりがスムーズにいくように、必要最低限の知識を習得し、理想の店舗を完成させられるようにする。 ④独立志向のある生徒に対して、具体的なビジョンを描かせることができ、モチベーションを向上させる。				
到達目標	①現場に出た際や、将来独立する際に、コンセプト設定や集客につながる空間づくりができる。 ②授業で学んだ空間づくりに必要な知識を、学内店舗実習に活かすことができる。 ③理想の店舗を作るために、設計・施工会社とやりとりができるよう、空間作りに必要な知識が最低限ある状態になる。				
評価基準	テスト50%/小テスト20%/提出物15%/授業態度15%				
認定条件	出席が総時間数の2/3以上ある者 学年成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	学内店舗実習A・B				
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上篠 光朗			実務経験	○
実務内容	15年以上レストラン勤務(イタリア渡経験有り)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	空間プロデュース 空間展示	ディスプレイコーナーや壁面装飾をよく見せるコツを理解する。 各イベントに合わせた展示応用。
2	空間プロデュース イベント演出①	イベント時の空間演出の基本、ハロウィンの店舗装飾のコツ・カラーコーディネートを理解する。
3	空間プロデュース フラワーアレンジメント①	行事（ハロウィンなど）装飾に合うフラワーアイテムを作成。
4	学内店舗実習（ハロウィン）	ハロウィンの学内店舗実習の演出
5	空間プロデュース BGM	BGMと空間の関係性、音源の種類や心理的効果を理解する。

6	空間プロデュース イベント演出②	クリスマスの店舗装飾のコツ・カラーコーディネートを理解する。
7	空間プロデュース フラワーアレンジメント②	行事（クリスマス装飾）に合うフラワーアイテムを作成。
8	学内店舗実習（クリスマス）	クリスマスの学内店舗実習の演出
9	空間プロデュース 照明	照明の基礎知識、効果的な照明計画、照明による心理的效果を理解する。
10	空間プロデュース テクスチャー	床・壁・天井・家具のテクスチャーの種類や効果を理解する。
11	空間プロデュース イベント演出③	バレンタインの店舗装飾のコツ・カラーコーディネートを理解する。
12	空間プロデュース フラワーアレンジメント③	行事（バレンタインなど）装飾に合うフラワーアイテムを作成。
13	学内店舗実習（バレンタイン）	バレンタインの学内店舗実習の演出
14	後期テスト	後期テストの実施
15	振り返り	1年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	接客・サービス演習A		
必修選択	選択	(学則表記)	接客・サービス演習A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	基礎からわかる レストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様から喜んでいただける接客・サービスの方法を学び、学内店舗実習での実践を通じて理解をする。		
到達目標	学内店舗実習内で接客・サービスの基本動作ができるようになる。 学内店舗実習内で飲食店に求められるサービスが提供できるようになる。		
評価基準	テスト：50%　小テスト：20%　提出物：15%　授業態度：15%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	サービス接客検定1～3級　/　レストランサービス技能検定3級（導入校のみ）		
関連科目	学内店舗実習		
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。（場合によってはオンデマンド型・同時双方向型も併用）		
担当教員	廣田　亜弥	実務経験	○
実務内容	国際線・国内線にて客室乗務員として勤務20年、結婚式場などで受付・クロークとして勤務10年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	接客サービスとは	・サービス技術の重要性について大枠を掴み、これから何を学ぶのかを理解する。
2	接客の基本について	・身だしなみ、態度、動作、接客用語を知る。また、レストラン部門の組織における役割を知る。
3	レストランサービスのテクノロジー	・サービステクノロジー、サービスの種類と変遷
4	クレンリネス①	・クレンリネスの必要性とそのポイントを知る。
5	クレンリネス② 小テスト	・学内店舗実習のクレンリネスチェックを行う。
6	什器備品の知識	・銀器類、陶磁器類、ガラス器類、リネン類について知る。
7	食器の取り扱いと管理	・シルバー・プレート・グラスの取り扱い方を実践する。
8	サービストレイ 小テスト	・トレイの持ち方・のせ方、皿の持ち方・下げ方を実践する。 小テスト 接客サービスの知識、食器・什器の知識

9	苦情対応	・ ケーススタディの実践と安全管理
10	テーブルセッティング	・ 朝食、昼食、ディナーのそれぞれの配置、使い方を知る。
11	プレートサービスの知識	・ プレートサービスの知識 方法を学ぶ。
12	テスト	・ 前期末テスト
13	ロールプレーイング①【演習】	・ シルバー、カトラリーを使用した演習
14	ロールプレーイング②【演習】	・ トレイ・プレートサービスを使用した演習
15	総合授業	・ テスト解説、総まとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	接客・サービス演習B		
必修選択	選択	(学則表記)	接客・サービス演習B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	基礎からわかる レストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様から喜んでいただける接客・サービスの方法を学び、学内店舗実習での実践を通じて理解をする。		
到達目標	学内店舗実習内で接客・サービスの基本動作ができるようになる。 学内店舗実習内で飲食店に求められるサービスが提供できるようになる。		
評価基準	テスト：50%　小テスト：20%　提出物：15%　授業態度：15%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	サービス接客検定1～3級　/　レストランサービス技能検定3級（導入校のみ）		
関連科目	学内店舗実習		
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。（場合によってはオンデマンド型・同時双方向型も併用）		
担当教員	廣田　亜弥	実務経験	○
実務内容	国際線・国内線にて客室乗務員として勤務20年、結婚式場などで受付・クロークとして勤務10年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	総合授業	・世の中の接客業で活躍している人の様子を知る。
2	サーバーの使い方	・サーバーの使い方、持ち方 日本式、西洋式の違いを学ぶ。
3	テーブルマナー	・お客様目線のテーブルマナーを知り実践する。
4	食前酒、ワイン	・基本の食前酒について知る、ワインの抜栓・注ぎ方について知る。
5	魚介類、チーズのサービス	・各種サービスのマナーを知る。
6	年度末テスト説明	・テスト概要説明
7	テーブルクロスのセッティング	・アンダークロス、テーブルクロス、トップクロスのかけ方を知る。
8	ナプキンの折り方	・ナプキンの折り方を知る。

9	ロールプレイング③【演習】	・サーバーを使用したロールプレイング
10	ロールプレイング④【演習】	・テーブルマナーのロールプレイング
11	ロールプレイング⑤【演習】	・ドリンクサービスのロールプレイング
12	ロールプレイング⑥【演習】	・テーブルクロス、ナプキンを使用したロールプレイング
13	ロールプレイング⑦【演習】	・年度末テストに向けての練習
14	テスト	・後期末演習テスト 1年振り返り
15	総合授業	・総評、社会人になる生徒に向けて

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ディスプレイA		
必修選択	選択	(学則表記)	ディスプレイA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	センスがなくても大丈夫! まねるだけで伝わるデザイン		出版社	ダイヤモンド社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カフェやパティスリー等の店舗のコンセプトに関連した内装や作成物のノウハウを学び、集客に繋がる店舗の魅せ方を知る。		
到達目標	お客様の目線に立って、様々な種類のディスプレイ方法を表現できる。 お客様目線に立って、伝えるではなく伝わる方法でディスプレイが出来る。		
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	学内店舗実習A・B／フードコーディネートA・B		
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。		
担当教員	酒見 薫	実務経験	○
実務内容	ショールーム・パーティー会場・百貨店の空間コーディネート（ディスプレイ）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	・ディスプレイとは、コンセプトとテーマについて ・コンセプトを形にしよう（教科書P25～P41）
2	ポスターについて	・ポスター掲示のルール 内部（校舎）外部の違い（屋外広告物法） ・掲示の理由 対象 情報 貼り方
3	フォント・文字について①	・フォントの役割 ・文字（教科書 P180～193）
4	フォント・文字について②	・明朝体・ゴシック体 ・レタリング
5	英語の筆記体・ブロック体について	・英語の筆記体・ブロック体を理解する。
6	紙の材質、用途について 用紙のサイズについて	・紙の材質で与える印象、用途 ・A判B判について
7	ロゴ①	・ロゴの役割 与える印象
8	ロゴ②	・canvaを使って店舗のロゴ作成

9	POP・ポスター作成① 【個人演習】	・筆記体、様々なフォントを手書きで作成する。テーマを決める。 ・POPの書き方、デザインについて（教科書P180～P193）
10	POP・ポスター作成② 【個人演習】	・筆記体、様々なフォントを手書きで作成する。 ・POPの書き方、デザインについて（教科書P180～P193）
11	店舗作成物について 小テスト	・ポスターの作り方、作成物検討（教科書P104～P121）
12	産学連携・特別授業	・外部企業様、お店のディスプレイを学ぶ。
13	店舗実習用ディスプレイ作成①	・ポスター、メニュー表、プライスカード など
14	各校判断	・お店のメニュー、POP、チラシのディスプレイ方法を学ぶ。
15	テスト	・前期末テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ディスプレイB		
必修選択	選択	(学則表記)	ディスプレイB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	センスがなくても大丈夫! まねるだけで伝わるデザイン		出版社	ダイヤモンド社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カフェやパティスリー等の店舗のコンセプトに関連した内装や作成物のノウハウを学び、集客に繋がる店舗の魅せ方を知る。		
到達目標	お客様の目線に立って、様々な種類のディスプレイ方法を表現できる。 お客様目線に立って、伝えるではなく伝わる方法でディスプレイが出来る。		
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	学内店舗実習A・B／フードコーディネートA・B		
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。		
担当教員	酒見 薫	実務経験	○
実務内容	ショールーム・パーティー会場・百貨店の空間コーディネート（ディスプレイ）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	写真の撮り方	・良い写真のポイント、構図・角度（教科書P220～P237） ・被写体に実際に写真を撮る。
2	写真の撮り方・編集	・良い写真のポイント、構図・角度（教科書P220～P237） ・撮った写真をアプリで加工（Sanpseed推奨）
3	POP作成①【個人演習】	・POPのデザインをスマホやタブレットで作成する。 ・POPの書き方、デザインについて（教科書P180～P193）
4	POP作成②【個人演習】	・POPのデザインをスマホやタブレットで作成する。 ・POPの書き方、デザインについて（教科書P180～P193）
5	黒板チョークアート①	・チョークの役割 ・黒板チョークアートデザイン作成
6	黒板チョークアート② 【個人演習】	・チョークの役割 ・黒板チョークアート
7	オイルパステルアート①	・オイルパステルとは ・デザイン
8	オイルパステルアート② 【個人演習】	・オイルパステル作品制作

9	店舗実習用ディスプレイ作成②	・ポスター、メニュー表、プライスカード など
10	各校判断	・ディスプレイ作成 グループワーク
11	各校判断	・コンセプトやペルソナに合わせたデザインや作成者の意図をプレゼンする。
12	オリジナルディスプレイ作成①	・自分の将来のお店のロゴ、チラシ作成
13	オリジナルディスプレイ作成②	・自分の将来のお店のロゴ、チラシ作成
14	店舗実習用ディスプレイ作成③ 後期試験対策	・ポスター、メニュー表、プライスカード など
15	テスト	後期末テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ラッピング演習A		
必修選択	選択	(学則表記)	ラッピング演習A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	30
使用教材	ラッピング検定テキスト			出版社	日本ラッピング協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	サービス業に必須な包装、それに関する知識、しきたりを身につける。				
到達目標	検定合格				
評価基準	検定テスト70% / 小テスト10% / 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ラッピング検定				
関連科目	学内店舗実習A・B、ディスプレイA・B				
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。				
担当教員	酒見 薫			実務経験	○
実務内容	ショールーム・パーティー会場・百貨店の空間コーディネート（ディスプレイ）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ラッピングの授業について 道具の確認・ラッピング概要（P1~4）
2	箱の知識、「合わせ包み」	箱の知識（P4,5）,「合わせ包み」（P7,8）講義・実技
3	「合わせ包み」復習 「一文字掛け+蝶結び」	筆記小テスト（P1~5）,「一文字掛け+蝶結び」（P17~19）講義・実技
4	「合わせ包み」復習 「蝶結び」復習+「斜め掛け」	「合わせ包み」復習,「蝶結び」復習 「斜め掛け」（P20）講義（実技）
5	「斜め包み」 （包み終わりの処理なし）	筆記小テスト（P7,8,17~19）,「斜め包み」（P14,15）講義・実技
6	「斜め包み」復習 「十字掛け」+「蝶結び」復習	「斜め包み」復習,「十字掛け」（P21）講義・実技+「蝶結び」復習
7	「斜め包み」復習・強化 「十字掛け」復習・強化	テキスト等に描かれない手の使い方や姿勢など、リアルに理解するポイントを強調解説
8	熨斗・しきたり 講義、実技	筆記小テスト（P14,15,21）,熨斗・しきたり 講義・実技（P6、22~29）

9	「風呂敷包み」講義「合せ包み」 「斜め包み」「十字掛け」強化	筆記小テスト（P 6,22～29） 「風呂敷包み」講義（P11～13） / 「合せ包み」「斜め包み」「十字掛け」強化
10	作業時間を意識する	筆記小テスト（P11～13） 実技復習・リボン強化 作業時間を意識
11	実技・模擬テスト 検定前の総復習	時期的に結び方はマスターしている時期なので、短時間で出来るように促す
12	「合わせ包み」 厚みの違う場合の包み方	違う厚みや形の箱「正四角柱の箱・P9」「薄型の箱・P10」に対応できるよう、講義・実技
13	前期の基本を復習 「斜め包み」サイズを合わせる	夏休み前に学んだ基本技術を確認しながら復習 「斜め包み」サイズの違う紙での紙とりの仕方（P14）講義・実技
14	「斜め包み」 （包み終わりの処理あり）	「斜め包み」の両面テープを使う、紙の端を見せない包み方の講義・実技（P16）
15	「風呂敷包み」実技	「風呂敷包み」実技（P12,13）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ラッピング演習B		
必修選択	選択	(学則表記)	ラッピング演習B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	30
使用教材	ラッピング検定テキスト			出版社	日本ラッピング協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	サービス業に必須な包装、それに関する知識、しきたりを身につける。				
到達目標	検定合格				
評価基準	検定テスト70% / 小テスト10% / 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ラッピング検定				
関連科目	学内店舗実習A・B、ディスプレイA・B				
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。				
担当教員	酒見 薫			実務経験	○
実務内容	ショールーム・パーティー会場・百貨店の空間コーディネート（ディスプレイ）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ラッピングの授業について 道具の確認・ラッピング概要（P1~4）
2	箱の知識、「合わせ包み」	箱の知識（P4,5）,「合わせ包み」（P7,8）講義・実技
3	「合わせ包み」復習 「一文字掛け+蝶結び」	筆記小テスト（P1~5）、「一文字掛け+蝶結び」（P17~19）講義・実技
4	「合わせ包み」復習 「蝶結び」復習+「斜め掛け」	「合わせ包み」復習、「蝶結び」復習 「斜め掛け」（P20）講義（実技）
5	「斜め包み」 （包み終わりの処理なし）	筆記小テスト（P7,8,17~19）、「斜め包み」（P14,15）講義・実技
6	「斜め包み」復習 「十字掛け」+「蝶結び」復習	「斜め包み」復習、「十字掛け」（P21）講義・実技+「蝶結び」復習
7	「斜め包み」復習・強化 「十字掛け」復習・強化	テキスト等に描かれない手の使い方や姿勢など、リアルに理解するポイントを強調解説
8	熨斗・しきたり 講義、実技	筆記小テスト（P14,15,21）、熨斗・しきたり 講義・実技（P6、22~29）

9	「風呂敷包み」講義「合せ包み」 「斜め包み」「十字掛け」強化	筆記小テスト（P 6,22～29） 「風呂敷包み」講義（P11～13） / 「合せ包み」「斜め包み」「十字掛け」強化
10	作業時間を意識する	筆記小テスト（P11～13） 実技復習・リボン強化 作業時間を意識
11	実技・模擬テスト 検定前の総復習	時期的に結び方はマスターしている時期なので、短時間で出来るように促す
12	「合わせ包み」 厚みの違う場合の包み方	違う厚みや形の箱「正四角柱の箱・P9」「薄型の箱・P10」に対応できるよう、講義・実技
13	前期の基本を復習 「斜め包み」サイズを合わせる	夏休み前に学んだ基本技術を確認しながら復習 「斜め包み」サイズの違う紙での紙とりの仕方（P14）講義・実技
14	「斜め包み」 （包み終わりの処理あり）	「斜め包み」の両面テープを使う、紙の端を見せない包み方の講義・実技（P16）
15	「風呂敷包み」実技	「風呂敷包み」実技（P12,13）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フードコーディネートA		
必修選択	選択	(学則表記)	フードコーディネートA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	新フードコーディネーター教本2024 3級			出版社	柴田書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	食に関する「文化」「デザイン・アート」分野を中心に、基本を理解する。 食産業・フードビジネスに関する実践的な知識を在学中の他教科との連携及び実習にて習得する。				
到達目標	授業で学んだテーブルコーディネート・セッティングを学内店舗実習に活かすことができる。 日本料理をはじめ、西洋料理・中国料理の歴史や特徴を述べることができる。				
評価基準	定期テスト50％・小テスト20％、授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・学年成績評価が2以上の者				
関連資格	日本フードコーディネーター協会 フードコーディネーター3級				
関連科目	学内店舗実習A・B／ディスプレイA・B／カラーコーディネートA・B				
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。				
担当教員	加美山 智絵			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ガイダンス	・フードコーディネートとは（4教科の説明、デザインアートとは） ・資格制度、認定校制度について
2	食空間におけるホスピタリティとは・食空間のあり方、家庭の食空間	・サービスとホスピタリティ、「おいしい」とは何か ・食空間の意味、家庭の食空間とは
3	テーブルコーディネートとは	・テーブルコーディネートの意味 ・テーブルセッティングとの違い
4	テーブルコーディネートの基本的理論	・6W3H、3K、三風の説明、演習 ・6W3Hを考える ・色とは ・基本的な8つのポイント ・食、色の関係
5	季節ごとのテーブルコーディネートトレンド	季節ごとのテーブルコーディネートを学ぶ。
6	食空間の構成 ～洋食～	・テーブルをセットするときの約束ごと ・テーブルの構成 ・コーディネートアイテムについて ・コーディネート例
7	食空間の構成 ～洋食～	・テーブルをセットするときの約束ごと ・テーブルの構成 ・コーディネートアイテムについて ・コーディネート例
8	基本的なテーブルセッティングの仕方 【演習】	・デモンストレーション ・グループ学習 季節や食空間を意識したコーディネート

9	基本的なテーブルセッティング の仕方 【演習】	・グループ学習 季節や食空間を意識したコーディネート グループワーク・発表
10	食空間の構成 ～中国料理～	・中国の食の約束ごと ・中国料理のテーブルセッティング
11	食空間の構成 ～和食～	・食の歴史と文化と風土（和食に関係する範囲） 第一節・解説 第二節・日本料理
12	食空間の構成 ～和食～	・食の歴史と文化と風土（和食に関係する範囲） 第一節・解説 第二節・日本料理
13	器の役割・重要性 【演習】	・器の役割 重要性 ・前期テーブルコーディネート、食空間
14	前期振り返り	・食空間の構成振り返り
15	テスト	前期末テスト・まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フードコーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	フードコーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	1	15
使用教材	新フードコーディネーター教本2024 3級			出版社	柴田書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	食に関する「文化」「デザイン・アート」分野を中心に、基本を理解する。 食産業・フードビジネスに関する実践的な知識を在学中の他教科との連携及び実習にて習得する。				
到達目標	授業で学んだテーブルコーディネート・セッティングを学内店舗実習に活かすことができる。 日本料理をはじめ、西洋料理・中国料理の歴史や特徴を述べることができる。				
評価基準	定期テスト50％・小テスト20％、授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・学年成績評価が2以上の者				
関連資格	日本フードコーディネーター協会 フードコーディネーター3級				
関連科目	学内店舗実習A・B／ディスプレイA・B／カラーコーディネートA・B				
備考	原則、この科目は 対面授業形式にて実施する。				
担当教員	加美山 智絵			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ハロウィン	・ハロウィンのディスプレイやコーディネートの楽しみ方 ・西洋行事(イースター等)の意味と食の関係性。
2	マナーとは 基本的な食事のマナー	・西洋マナー
3	西洋料理のマナー	・テーブルマナーなど
4	日本料理・中国料理・飲酒・ お茶・お菓子のマナー	・和食マナー + 箸のマナー 等
5	サービスマナープロトコール	・基本とプロトコール
6	クリスマスについて	・クリスマスとは ・各国のクリスマス文化について ・クリスマスケーキについて
7	世界各国の料理について	・ディスプレイやコーディネートの楽しみ方 ・アジア・ヨーロッパ他
8	日本文化について	・お正月～節句

9	各国の食文化・食空間について 【演習】	・各国の文化、食生活、食空間について ・グループでテーマを決める発表する。
10		
11	食の企画・構成・演出の流れ	・概説 ビジネス企画書の基本構成
12	食の企画・構成・演出の流れ	・デジタル技術の進展と社会の変化 SDGs 他
13	食空間プランニング 【演習】	・演習 オリジナルの食空間コーディネートを考え、プレゼンテーションボード（ラフ画含む）を制作 季節、食空間をトータルにプロデュース
14	食空間プランニング 【演習】	・演習 オリジナルの食空間コーディネートを考え、プレゼンテーションボード（ラフ画含む）を制作 季節、食空間をトータルにプロデュース
15	食空間プランニング 【演習】 ・テスト	・演習 オリジナルの食空間コーディネートを考え、プレゼンテーションボード（ラフ画含む）を制作 季節、食空間をトータルにプロデュース

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	学内店舗実習A		
必修選択	選択	(学則表記)	学内店舗実習A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる店舗運営の考え方が身につく				
到達目標	・販売できるクオリティの製品を作ることができる ・お客様のニーズに合わせた商品を考えることができる ・商品を大量かつ統一したクオリティで作ることができる ・おもてなしの気持ちを持ち、サービスすることができる ・学校マニュアルの衛生管理ができる ・原価計算の上、価格設定をすることができる ・作業の優先順位を考えて行動できる ・ECサイトの運用方法を理解することができる				
評価基準	テスト50％ 提出物30％ 授業態度20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	栄養学AB 食の原材料AB 食の安全AB ビジネスマナーAB カラーコーディネートAB 製菓・製パン理論AB 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ カフェ・ドリンク理論AB カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ SNSマーケティングAB 空間プロデュースAB 接客・サービス演習AB デ스플레이AB ラッピング演習AB フードコーディネートAB 学内店舗実習B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	谷貝 恵美 他5名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	学内店舗とは	授業の学びの目的・店舗運営の仕方や役割・衛生管理・店舗設定（マーケティング）・接客サービス・授業のスケジュール（試作・仕込み・営業）・営業プランニング・原価設定・ECサイトの運用方法
2	試作・プランニング	試作とは・試作のやり方・試作のルール・試作練習・営業プランニング
3	仕込み・プランニング	仕込みとは・仕込みのやり方・仕込みのルール・仕込み練習・営業プランニング
4	仕込み練習・シミュレーション	仕込み練習・実製品を使用してシミュレーション・営業準備
5	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
6	営業	営業・振り返り・次回営業のプランニング

7	小テスト・試作・販売シミュレーション	小テスト・試作・実製品を使用してシミュレーション
8	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
9	営業	営業・振り返り・次回営業のプランニング
10	試作・シミュレーション	試作・シミュレーション
11	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
12	営業	営業・振り返り・次回営業のプランニング
13	テスト・試作・販売シミュレーション	テスト・試作・実製品を使用してシミュレーション
14	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
15	営業・まとめ	営業・振り返り・まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	学内店舗実習B		
必修選択	選択	(学則表記)	学内店舗実習B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	4	120
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる店舗運営の考え方が身につく				
到達目標	・販売できるクオリティの製品を作ることができる ・お客様のニーズに合わせた商品を考えることができる ・商品を大量かつ統一したクオリティで作ることができる ・おもてなしの気持ちを持ち、サービスすることができる ・学校マニュアルの衛生管理ができる ・原価計算の上、価格設定をすることができる ・作業の優先順位を考えて行動できる ・ECサイトの運用方法を理解することができる				
評価基準	テスト50％ 提出物30％ 授業態度20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	栄養学AB 食の原材料AB 食の安全AB ビジネスマナーAB カラーコーディネートAB 製菓・製パン理論AB 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ カフェ・ドリンク理論AB カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ SNSマーケティングAB 空間プロデュースAB 接客・サービス演習AB ディスプレイAB ラッピング演習AB フードコーディネートAB 学内店舗実習B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	谷貝 恵美 他5名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	学内店舗とは	授業の学びの目的・店舗運営の仕方や役割・衛生管理・店舗設定（マーケティング）・接客サービス・授業のスケジュール（試作・仕込み・営業）・営業プランニング・原価設定・ECサイトの運用方法
2	試作・プランニング	試作とは・試作のやり方・試作のルール・試作練習・営業プランニング
3	仕込み・プランニング	仕込みとは・仕込みのやり方・仕込みのルール・仕込み練習・営業プランニング
4	仕込み練習・シミュレーション	仕込み練習・実製品を使用してシミュレーション・営業準備
5	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
6	営業	営業・振り返り・次回営業のプランニング

7	小テスト・試作・販売シミュレーション	小テスト・試作・実製品を使用してシミュレーション
8	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
9	営業	営業・振り返り・次回営業のプランニング
10	試作・シミュレーション	試作・シミュレーション
11	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
12	営業	営業・振り返り・次回営業のプランニング
13	テスト・試作・販売シミュレーション	テスト・試作・実製品を使用してシミュレーション
14	仕込み・販売シミュレーション	営業用製品仕込み・シミュレーション・営業準備
15	営業・まとめ	営業・振り返り・まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	製菓実習Ⅰ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	製菓実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求めるパティシエとしての考え方・作業・技術を身につける				
到達目標	・1年生で身につけた基本生地や基本クリームをレシピを見ながら作ることができる。 ・自ら考えケーキの構成に合わせた道具や次の作業の準備ができる ・作業時間を意識し行動できる（作業スピードの向上） ・スイーツの技術、知識の幅を理解する（汎用性、素材の生かし方） ・製菓における衛生管理を理解し、実行できる				
評価基準	小テスト20％ テスト50％ 提出物20％ 授業態度10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	製菓・製パン理論AB 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ 製菓実習ⅡⅢⅣ 製パン実習AB 製菓応用実習 製パン基礎実習 学内店舗実習AB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	谷貝 恵美 他4名			実務経験	○
実務内容	洋菓子店にて18年勤務、カフェ形態店舗にて3年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アントルメ	フレジェ
2	アントルメ	パッションオランジュ
3	焼菓子・練習	店舗実習 全国定番商品/技能検定Ⅲデモ・練習①/テスト練習①（上級絞り平面）
4	アントルメ・練習	バリプレスト/テスト練習②（上級絞り平面）
5	アントルメ	ガトーフレーズ
6	プチガトー	抹茶ムース
7	テスト・練習・仕込み	小テスト/技能検定Ⅲ練習②/フィユタージュ・ランベルセ仕込み

8	プチガトー	苺のミルフィーユ
9	アントルメ	ガトーカシス
10	アントルメ	サンマルク
11	練習・プチガトー	技能検定Ⅲ練習③/ルーロオショコラ/テスト練習③（上級絞り平面）
12	プチガトー	フランボワジェ
13	テスト	テスト（上級絞り平面）
14	和スイーツ	和スイーツ「春」
15	プチガトー	ヴェリーヌ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	製菓実習Ⅱ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	製菓実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求めるパティシエとしての考え方・作業・技術を身につける				
到達目標	・1年生で身につけた基本生地や基本クリームをレシピを見ながら作ることができる。 ・自ら考えケーキの構成に合わせた道具や次の作業の準備ができる ・作業時間を意識し行動できる（作業スピードの向上） ・スイーツの技術、知識の幅を理解する（汎用性、素材の生かし方） ・製菓における衛生管理を理解し、実行できる				
評価基準	小テスト20％ テスト50％ 提出物20％ 授業態度10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	製菓・製パン理論AB 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ 製菓実習ⅠⅢⅣ 製パン実習AB 製菓応用実習 製パン基礎実習 学内店舗実習AB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	谷貝 恵美 他4名			実務経験	○
実務内容	洋菓子店にて18年勤務、カフェ形態店舗にて3年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	デセール	フォンダンショコラ（デセール仕上げ）
2	ドリンク・焼菓子	ドリンク①（ドリップコーヒー）/ビスコッティ
3	プチガトー	ムースショコラブラン（プチガトー）
4	冷菓・焼菓子・練習	スフレチーズ/フロランタン/技能検定Ⅳデモ・練習①
5	デセール	クレームダンジュ
6	テスト・伝統菓子	小テスト/ガトーバスク/技能検定Ⅳ練習②
7	デセール・ドリンク	スフレショコラ（温製）/ドリンク②（紅茶）

8	コンフィズリー・デセール	パートドフリユイ/ヌガーグラスセ
9	焼菓子・練習	ガトーショコラ　オ　ナンシー/カヌレ仕込み/技能検定Ⅳ練習③
10	テスト・焼菓子	テスト（技能検定Ⅳ）/カヌレ焼成
11	デセール	アシェットデセール（ヴァシュラン）
12	外部講師	外部講師
13	焼菓子・コンフィズリー	タルトドフィノワーズ/コンフィチュール
14	プチガトー	カーディナルシュニッテン/モンブランメレンゲ
15	プチガトー・デセール	モンブラン

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	製菓実習Ⅲ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	製菓実習Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求めるパティシエとしての考え方・作業・技術を身につける				
到達目標	・正確性、安定性の高い製品を作ることができる ・作業の先読みができ、主体的に行動できる（作業効率の向上） ・失敗の原因を考え、改善方法を見出すことができる ・スイーツの技術、知識の幅を理解する（汎用性、素材の生かし方） ・製菓における衛生管理を理解し、実行できる				
評価基準	小テスト 20% テスト 50% 提出物 20% 授業態度 10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	製菓・製パン理論AB 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ 製菓実習ⅠⅡⅣ 製パン実習AB 製菓応用実習 製パン基礎実習 学内店舗実習AB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	谷貝 恵美 他4名			実務経験	○
実務内容	洋菓子店にて18年勤務、カフェ形態店舗にて3年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	練習・焼菓子	技能検定Ⅳ練習④/ケーキ/フォンセ仕込み
2	アントルメ	りんごのシブースト
3	練習・仕込み	技能検定Ⅳ練習⑤/ラビド仕込み
4	焼菓子	マロンパイ（ラビド）/コンベルサッション
5	和スイーツ	和スイーツ「秋」
6	アントルメ	オペラ
7	テスト・焼菓子・練習	小テスト（筆記）/テリヌ抹茶/テスト練習①（パイピング）
8	チョコレート	チョコレート①（モールド）

9	チョコレート	チョコレート②（トランペバリエーション）
10	アントルメ	フォレノワール/チョコ飾り
11	アントルメ	ショコラマロンビスターシュ
12	練習	テスト練習②（パイピング）
13	テスト	テスト（パイピング）
14	デセール	季節のアシェットデセール
15	プチガトー	季節のプチガトー

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	製菓実習Ⅳ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	製菓実習Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求めるパティシエとしての考え方・作業・技術を身につける				
到達目標	・正確性、安定性の高い製品を作ることができる ・作業の先読みができ、主体的に行動できる（作業効率の向上） ・失敗の原因を考え、改善方法を見出すことができる ・スイーツの技術、知識の幅を理解する（汎用性、素材の生かし方） ・製菓における衛生管理を理解し、実行できる				
評価基準	小テスト 20% テスト 50% 提出物 20% 授業態度 10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	製菓・製パン理論AB 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ 製菓実習ⅠⅡⅢ 製パン実習AB 製菓応用実習 製パン基礎実習 学内店舗実習AB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	谷貝 恵美 他4名			実務経験	○
実務内容	洋菓子店にて18年勤務、カフェ形態店舗にて3年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アントルメ	クリスマスケーキ
2	アントルメ	プッシュドノエル（トヨ型ムース）
3	アントルメ	ムースショコラオテ
4	焼菓子	ヘクセンハウス
5	テスト・練習・焼菓子	小テスト（筆記）/テンパリング練習/ヘクセンハウス組み立て
6	アントルメ	ザッハトルテ
7	プチガトー・仕込み	トレンドメニュー/フォンセ仕込み
8	アントルメ	サントノレ（フィユタージュ）

9	アントルメ	テスト用ジェノワーズ焼成
10	テスト	テスト（仕上げ）
11	アントルメ	ムースキャラメルショコラ（サンファリーヌ）
12	アントルメ・プチガトー	様々なパーツを使った複合メニュー
13	アントルメ・プチガトー	様々なパーツを使った複合メニュー
14	卒業制作①	卒業制作①
15	卒業制作①	卒業制作②

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	製菓応用実習		
必修選択	選択必修	(学則表記)	製菓応用実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求めるパティシエとしての考え方・作業・技術を身につける				
到達目標	・細工物の技術や知識を習得する ・作品の構成、デザインの考え方を学び、表現力を身につける				
評価基準	小テスト20% テスト50% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	製菓・製パン理論B 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ 製菓実習ⅠⅡⅢⅣ 製パン基礎実習 学内店舗実習AB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	青島 昂輝 他1名			実務経験	○
実務内容	洋菓子店にてパティシエとして10年以上勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	工芸菓子	マジパン細工
2	工芸菓子	マジパン細工
3	工芸菓子	マジパン細工
4	工芸菓子	飴細工
5	工芸菓子	飴細工
6	工芸菓子	飴細工
7	工芸菓子	チョコレート細工
8	工芸菓子	チョコレート細工

9	小テスト・工芸菓子	小テスト（筆記）・チョコレート細工
10	工芸菓子	シュガークラフト
11	工芸菓子	シュガークラフト
12	テスト	テスト
13	アントルメ	ウェディングケーキ（バラ絞り）
14	アントルメ	ウェディングケーキ
15	アントルメ	ウェディングケーキ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	製パン基礎実習		
必修選択	選択必修	(学則表記)	製パン基礎実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められるパティシエとしての製パン技術・知識を身につける				
到達目標	・商品価値のあるものを製品として作ることができる ・計量～焼成まで一通りの作業ができる ・丸め・のばし・分割・成形が正確にできる ・機材の使用方法を理解し、製造できる（ミキサー、ホイロ、オープン） ・焼き上がりの見極めができる				
評価基準	小テスト 20% テスト 50% 提出物 20% 授業態度 10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	製菓・製パン理論B 製菓・製パン実習ⅠⅡⅢⅣ 製菓実習ⅠⅡⅢⅣ 製菓応用実習 学内店舗実習AB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	西安 里紗 他1名			実務経験	○
実務内容	パン屋にて8年以上勤務(うち3年は海外にて勤務)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	折り込み菓子パン、シナモンロール
2	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	バゲット、チーズブール、ペーコンエピ
3	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	カンパーニュ、クランベリークリームチーズ、クロワッサン仕込み
4	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	クロワッサン、クロッカン、クロワッサン仕込み
5	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	パンオショコラ、クロワッサンオザマンド、デニッシュ仕込み
6	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	デニッシュ
7	小テスト、	小テスト（筆記）、ドーナツ
8	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	湯種パン

9	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	シュトーレン
10	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	クグラフ、サヴァラン
11	テスト準備	テスト用クロワッサン仕込み、米粉パン
12	テスト	テスト（クロワッサン）
13	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	ブリオッシュ（テート、ナンテール、パンオレザン）
14	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	プレッツェル・タイガーロール
15	ミキシング・発酵・丸め・成型・焼成	パンオヴァン・ヌスポイゲル

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	カフェ実習Ⅰ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	カフェ実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次習得をした基礎技術をもとに応用テクニックを学ぶ。				
到達目標	基本技術を活かし、応用テクニックを習得する。 学内店舗等を意識したクオリティの料理を仕上げる事が出来る。 幅広いバリエーションの商品を製作するための知識・技術を身に付けることができる。				
評価基準	テスト50%、提出物20%、小テスト20%、授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	カフェ・ドリンク理論A・B/カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ/学内店舗実習A・B/ドリンク実習A・B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上篠 光朗 他3名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	学内店舗実習 デモンストレーション	学内店舗実習 営業日1、2回目メニューの デモンストレーション
2	学内店舗実習 デモンストレーション	学内店舗実習 営業日1、2回目メニューの デモンストレーション
3	カフェ① ※ワンプレート ①鯔の三枚卸しの復習 ②調理技法：フリールの復習	鯔フライサンド 柴漬けタルタル ※鯔半身を次回使用
4	スペイン料理 ※ワンプレート ①ボカディージョ ②アヒージョ ③エスカベッシュ	ボカディージョ バスク風 アヒージョ 鯔のエスカベッシュ
5	洋食①+デザート① ①ソース・ベシャメルの復習 ②調理技法：フリール、パネの復習 ③じゃがいものトゥルネ	蟹クリームコロッケ プリン・ア・ラ・モード じゃがいものトゥルネ

6	フランス料理① ※ワンプレート ①調理技法：低温調理(真空調理) ②調理技法：フリット ③旬(春)野菜のサラダ	豚フィレ肉の低温調理 山菜のサラダ じゃがいもビュレ
7	フランス料理② ※ワンプレート ①調理技法:低温調理(真空調理) ②ソース・アメリカーズ ③リゾットの復習	鶏胸肉とえびのルーロ 低温調理 ソース・アメリカーズ アスパラと桜エビのリゾット
8	フランス料理③ 小テスト 技能検定Ⅲ 対策授業①	鰯のボワレ ソース・ブルブラン 小テスト(鰯の三枚おろし)
9	カフェ② デリカテッセンについて ①調理技法：塊肉のロースト(ロゼ) ②ブリュノワーズ	ローストビーフ レンズ豆のサラダ マリネのサラダ エシャロットシズレ※テスト練習
10	学内店舗実習① シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
11	フランス料理③ ※ワンプレート ①調理技法：コンフィ ②調理技法：エチュベ	鶏肉のコンフィ 春キャベツのエチュベ
12	実技テスト ①調理技法：ヴァプール ②野菜のソース	実技テスト(鰯の三枚おろし) 鰯のルーロとかぶの Pasta
13	学内店舗実習② シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
14	カフェ③ ※ワンプレート ①オープンサンド ②調理技法：燻製 ③じゃがいものトゥルネ	タルティーヌ 鶏胸肉の燻製サラダ
15	交換授業	パティシエ教員に製菓の授業をしていただく。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	カフェ実習Ⅱ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	カフェ実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次習得をした基礎技術をもとに応用テクニックを学ぶ。				
到達目標	基本技術を活かし、応用テクニックを習得する。 学内店舗等を意識したクオリティの料理を仕上げる事が出来る。 幅広いバリエーションの商品を製作するための知識・技術を身に付けることができる。				
評価基準	テスト50%、提出物20%、小テスト20%、授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	カフェ・ドリンク理論A・B/カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ/学内店舗実習A・B/ドリンク実習A・B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上篠 光朗 他3名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	小テスト 技能検定Ⅲ 対策授業②	鯔のポワレ ソース・ブールブラン 小テスト(エシャロットのシズレ)
2	カフェ④ ①スパイスの種類と特徴 ②調理技法：野菜の素揚げ	スープカレー
3	実技テスト カフェ⑤ ①調理技法：軽い煮込み ②サワークリームの使い方	ビーフストロガノフ マッシュポテト 実技テスト(エシャロットのシズレ)

4	カフェ⑥ ※ワンプレート ①網脂の使い方 ②スパイス ③調理技法：ロースト(野菜) ④面取り	煮込みハンバーグ スパイスを使用した付け合わせ
5	カフェ⑦ ※ワンプレート ①ベーグル生地 ②調理技法：ローストの復習 ③ヴィネグレットの応用	ベーグルサンド ローストポーク ジュリエンのサラダ
6	カフェ⑧ ※ワンプレート ①パンズ生地 ②パティ ③切り方：千切りの復習	ハンバーガー コールスロー ポテトフライ オニオンリング
7	学内店舗実習③ シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
8	デザート② ①パフェ ②パフェのパーツを使用してアシェットデセルの仕上げ③ソースのひき方	ティラミスパフェ アシェットデセルの仕上げ
9	デザート③ ①アシェットデセル ②旬(夏)のフルーツのバリエーション	旬のフルーツ(パイナップル)を使用したアシェットデセル 旬のフルーツのシロップ煮、ソース、アイス
10	学内店舗実習④ シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
11	和食① ※和プレート(夏) ①南蛮漬け ②旬(夏)野菜の揚げ浸し	鶏の南蛮漬け
12	イタリア料理① ①ニョッキの応用 ②切り方：千切りの復習 ③貝のジュの取り方	かぼちゃとほうれん草のニョッキ イカのマスタードマリネ 魚介と千切り野菜のスープ
13	イタリア料理② ※ワンプレート ①手打ちパスタ：ラヴィオリ ②ファルス	ラヴィオリ バーニャカウダ
14	校外講師授業	現場で活躍している講師から直接授業をして頂く。
15	学内店舗実習	店舗実習落とし込み、仕込み、実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	カフェ実習Ⅲ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	カフェ実習Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次習得をした基礎技術をもとに応用テクニックを学ぶ。				
到達目標	基本技術を活かし、応用テクニックを習得する。 学内店舗等を意識したクオリティの料理を仕上げる事が出来る。 幅広いバリエーションの商品を製作するための知識・技術を身に付けることができる。				
評価基準	テスト50%、提出物20%、小テスト20%、授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	カフェ・ドリンク理論A・B/カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ/学内店舗実習A・B/ドリンク実習A・B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上篠 光朗 他3名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カフェ⑨ ※ワンプレート ①調理技法：ソテ	豚ロースのソテ
2	小テスト 技能検定Ⅳ①	技能検定Ⅳ 対策練習① 小テスト(じゃがいもトウルネ)
3	フランス料理④ ①調理技法：包み焼き ②パテ	プティパテ ソース・ボルト
4	フランス料理⑤ ①調理技法：塩包焼き ②ソース・オランダーズ ③調理技法：野菜のローストとソテ	豚ロースの塩包焼き ソース・オランダーズ ロースト野菜

5	フランス料理⑥ 実技テスト ①調理技法：包み焼き ②魚のムース ③ソース・ペアルネーズの派生	サーモンのパイ包み焼き ソース・ショロン 実技テスト(じゃがいもトゥルネ)
6	フランス料理⑦ ①シャルキュトリー ②コンソメの取り方	パテ・ド・カンパーニュの仕込み コンソメ
7	フランス料理⑧ + デザート④ ①パイ包み焼きの応用 ②ショーゾン・オ・ボム	パテ・ド・カンパーニュ ピクルス コンソメスープのパイ包み
8	和食② ※和プレート(秋) ①竜田揚げ ②茶碗蒸し ③旬(秋)野菜の天ぷら	秋刀魚 旬の天ぷら(春菊、舞茸、さつまいもなど)
9	中国料理① 点心	肉まん ゴマ団子
10	学内店舗実習⑤ シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
11	エスニック料理①	ナシゴレン
12	学内店舗実習⑥ シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
13	エスニック料理②	カオマンガイ ヤム・ウンセン
14	カフェ⑩ ※ワンプレート ①骨付き肉の下処理 ②テックス・メクス料理	スベアリブのBBQソース メキシカンサラダ
15	学内店舗実習(クリスマス)	店舗実習落とし込み、仕込み、実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドリンク実習A		
必修選択	選択必修	(学則表記)	ドリンク実習A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材	コーヒーは楽しい！！		出版社	パイインターナショナル	

科目の基礎情報①

授業のねらい	①ドリンク技術の基礎・知識の理解 ②ドリンク製造における基礎的な動きの習得				
到達目標	①学内店舗実習にて商品提供をすることができる ②SCコンテスト校内予選に、高い水準で参加することができる ③現場で使える技術・知識を習得する				
評価基準	テスト60％ / 提出物20％ / 小テスト20％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 / 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	カフェ理論AB / 学内店舗実習AB / カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	中西 恵美 他1名			実務経験	○
実務内容	バリスタとマキネスティとして25年以上(内、焙煎士13年/海外での勤務経験有)勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エスプレッソ (1)	①器具の説明 ②エスプレッソマシンの準備と片付け ③エスプレッソの抽出手順 ④スチームの仕方 ⑤カプチーノの作り方
2	エスプレッソ (2)	①エスプレッソ系ドリンクの作り方 (エスプレッソ、ルンゴ、リストレット、アメリカーノ、アイスラテ、カプチーノ、ラテマキアート)
3	コーヒー (1)	①器具の説明 ②コーヒーの淹れ方 ③アイスコーヒー
4	紅茶 (1)	①器具の説明 ②ストレートティーの淹れ方 ③適正なお湯について ④飲み比べ
5	紅茶 (2)	①アイ스티ーとは ②アイ스티ーの淹れ方 (クリームダウンについての注意点や水出しの方法) ③紅茶の飲み比べ
6	モクテル (1)	①モクテルとは ②パーツールの使い方 ③シロップを使ったモクテル
7	エスプレッソ (3)	スチーム技術練習 ①スチームの手順確認 ②フォームの作り方 ③対流のさせ方 ④取り分け ⑤基本の注ぎ方

8	エスプレッソ（４）	エスプレッソ技術練習 ①抽出の手順確認 ②タンピング練習 ③レベリング練習 ④エスプレッソメニュー （ルンゴ、エスプレッソ、リストレット、ロングブラック、アメリカーノなど）
9	コーヒー（２）	①コーヒーの味わい方 ②ドリッパーによる味の違い ③豆のグラムによる味の違い ④メッシュによる味の違い ⑤水について
10	コーヒー（３）	①湯温による味の違い ②抽出量による味の違い ③透過法と浸漬式による味の違い
11	コーヒー（４）	プレゼンをしながらドリップする／作業場をきれいに保つ ※前期テスト対策
12	コーヒー（５）	プレゼンをしながらドリップする／作業場をきれいに保つ ※前期テスト対策
13	前期テスト	前期テスト
14	ドリンク各種の復習	ドリンク各種の復習
15	ドリンク各種の復習	ラテアート練習、オリジナルドリンク、ドリップコーヒー

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	カフェ実習Ⅳ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	カフェ実習Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次習得をした基礎技術をもとに応用テクニックを学ぶ。				
到達目標	基本技術を活かし、応用テクニックを習得する。 学内店舗等を意識したクオリティの料理を仕上げる事が出来る。 幅広いバリエーションの商品を製作するための知識・技術を身に付けることができる。				
評価基準	テスト50%、提出物20%、小テスト20%、授業態度10%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	カフェ・ドリンク理論A・B/カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ/学内店舗実習A・B/ドリンク実習A・B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上篠 光朗 他3名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フランス料理⑨ ①調理技法：軽い煮込みの復習 ②トゥルネの復習	豚肩肉のナヴァラン風 クスクス じゃがいものトゥルネ
2	小テスト 技能検定Ⅳ②	技能検定Ⅳ 対策練習② 小テスト(豚肉のソテ)
3	イタリア料理③+デザート 調理技法：魚介の煮込み	魚のボワレ スープ仕立て レモン風味のフォカッチャ ボネ
4	実技テスト ①調理技法：ソテ ②ポレンタの炊き方	豚ロースのソテ 実技テスト(豚肉のソテ)

5	フランス料理⑩ ※ワンプレート ①パロティース ②旬(冬)野菜の付け合わせ ③グジェール	パロティース 旬(冬)野菜の付け合わせ グジェール
6	フランス料理⑪ ※レストラン仕上げ ①小鯛の三枚卸し ②調理技法：ポワレ ③調理技法：エチュベ	小鯛のポワレ アンディーブのエチュベ
7	フランス料理⑫ ※レストラン仕上げ ①調理技法：ブレゼ、グラッセ ②ビュレのバリエーション	鶏もも肉のブレゼ にんじんのビュレ
8	学内店舗実習⑦ シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
9	フランス料理⑬ ※レストラン仕上げ ①調理技法：ロースト（ロゼ） ②骨付き肉の火入れ	仔羊のロースト ジュ・ダニョ パブリカのクーリ
10	フランス料理⑭ ※ワンプレート ①調理技法：ポワレ ②牛肉の火入れ	バベットステーキ エシャロットソース
11	学内店舗実習⑧ シミュレーション 仕込み	学内店舗実習の仕込みとシミュレーションの実施
12	フランス料理⑮ ※レストラン仕上げ ①調理技法：ロースト（ロゼ） ②ビュレのバリエーション ③ジュのソース	鴨胸肉のロースト 菊芋のビュレ ジュ・ド・カナール
13	フランス料理⑯ ※レストラン仕上げ ①牛フィレ肉のポワレ ②赤ワインソースの応用	牛肉のポワレ ソース・ボルト
14	学校行事	行事内容落とし込み、仕込み、準備
15	学校行事	行事内容落とし込み、仕込み、準備

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドリンク実習B		
必修選択	選択必修	(学則表記)	ドリンク実習B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	パティシエ・カフェ科	2	60
使用教材	コーヒーは楽しい！！		出版社	パイインターナショナル	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①ドリンク技術の基礎・知識の理解 ②ドリンク製造における基礎的な動きの習得		
到達目標	①学内店舗実習にて商品提供をすることができる ②SCコンテスト校内予選に、高い水準で参加することができる ③現場で使える技術・知識を習得する		
評価基準	テスト60％　／　提出物20％　／　小テスト20％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者　／　成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	カフェ理論AB　／　学内店舗実習AB　／　カフェ・ドリンク実習ⅠⅡⅢⅣ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中西　恵美　他1名	実務経験	○
実務内容	バリスタとマキネスティとして25年以上(内、焙煎士13年/海外での勤務経験有)勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エスプレッソ (5)	①エスプレッソの味わい方 ②カップについて ③エスプレッソメニュー (ルンゴ、エスプレッソ、リストレット、ロングブラック、アメリカノなど)
2	エスプレッソ (6)	エスプレッソ味検証：①豆のグラムによる味の違い ②メッシュによる味の違い ③抽出量による味の違い
3	エスプレッソ (7)	カプチーノ味検証：①ミルクの温度による味の違い ②ミルクのメーカーによる味の違い ③カプチーノ検証
4	エスプレッソ (8)	エスプレッソ・カプチーノの総合的な復習
5	コーヒー (6)	①ブレンド ②アイスコーヒー
6	コーヒー (7)	①オリジナルレシピを作る (ブレンド/豆の量/メッシュ/ドリッパー/湯温/抽出量)
7	紅茶 (3)	①ミルクティーを淹れる ②ロイヤルミルクティーの淹れ方
8	紅茶 (4)	①オリジナルレシピを作る
9	日本茶・中国茶 (1)	①日本茶の淹れ方 ②中国茶の淹れ方 ③茶葉の飲み比べ
10	モクテル (2)	モクテルを作る：パースプーン/ビルド/シェイク/ 基本モクテル (ショート・ロング) ※内容は各校判断

11	モクテル（３）	モクテルを作る：バースプーン／ビルド／シェイク／ 基本モクテル（ショート・ロング） ※内容は各校判断
12	ドリンク各種の復習	ラテアート練習、オリジナルドリンク、ドリップコーヒー
13	ドリンク各種の復習	ラテアート練習、オリジナルドリンク、ドリップコーヒー
14	ドリンク各種の復習	ラテアート練習、オリジナルドリンク、ドリップコーヒー
15	後期テスト	ドリンク各種の復習/後期テスト